

各位

株式会社りそな銀行
 株式会社埼玉りそな銀行
 株式会社関西みらい銀行
 株式会社みなの銀行
 りそなアセットマネジメント株式会社

寄付プロジェクト「みらいE-usプロジェクト」における 寄付対象期間の延長ならびに対象商品「ecoWIN」「安心道しるべ」の追加について

りそなグループのりそな銀行（社長 岩永 省一）、埼玉りそな銀行（社長 福岡 聡）、関西みらいフィナンシャルグループ傘下の関西みらい銀行（社長 菅 哲哉）、みなの銀行（社長 武市 寿一）は、りそなアセットマネジメント（社長 西岡 明彦）、アムンディ・ジャパン株式会社（代表取締役社長 ローラン・ベルティオ）、大和アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 松下 浩一）と協働して、SDGsにおける社会貢献の取り組みの一環として実施している寄付プロジェクト「みらいE-usプロジェクト」の実施期間を2022年12月30日（金）まで延長します。

りそな銀行、埼玉りそな銀行においては、対象商品として、8月26日（木）より投資信託「愛称 ecoWIN」を、9月1日（水）より生命保険「愛称 安心道しるべ」を追加します。また、「みらいE-usプロジェクト」の共同寄付実施企業に、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長 桐谷 重毅）、第一フロンティア生命保険株式会社（代表取締役社長 武富 正夫）が加わります。

➤ お客さまにSDGsの取り組みに参画する機会や次世代の教育に貢献する機会を提供します！

2019年10月にスタートした「みらいE-usプロジェクト」は、これまで約2,600万円の寄付を実施しました。SDGsへの取り組みの輪が着実に広がっている一方で、足元ではコロナ禍による生活環境の変化などもあり、社会課題は多様化しています。今回、実施期間を2022年12月30日（金）に延長することで、お客さまがSDGsの取り組みに参画する機会の提供期間を拡大します。



➤ 環境問題の解決を投資の原動力とする投資信託『愛称 ecoWIN』を対象商品に追加します！

「持続可能な社会」への移行が世界的な時代の潮流となり、各国・地域の政府や投資家、消費者の意識が変化していることを受け、企業の環境問題に対する取り組みは加速しています。投資信託「愛称 ecoWIN」では、「脱炭素社会」「持続可能な消費と生産」「循環経済」を筆頭に、環境問題の解決に貢献する製品やサービスを提供する「ソリューション・プロバイダー」へ投資します。

名称	正式名：GSグローバル環境リーダーズ 愛称：ecoWIN
設定日	2021年8月26日（木）
取扱銀行	りそな銀行、埼玉りそな銀行

➤ 生命保険「愛称 安心道しるべ」を対象商品に追加し、『人生100年時代』の資産形成・承継をかなえます！

生命保険「愛称 安心道しるべ」は指数連動型の一時払年金保険であり、幅広い受取プランの中から、お客さまがライフプランに合わせた受取方法を選択することが可能です。また、カーボン・オフセットを利用し「ベトナムにおけるバイオガス使用によるメタン排出抑制事業」に拠出することで、商品パンフレットの作成におけるCO2排出実質ゼロに取り組んでいる商品です。

名称	正式名：積立利率変動型個人年金保険(21)(通貨指定型) 愛称：安心道しるべ
取扱開始日	2021年9月1日（水）
募集代理店	りそな銀行、埼玉りそな銀行

以上

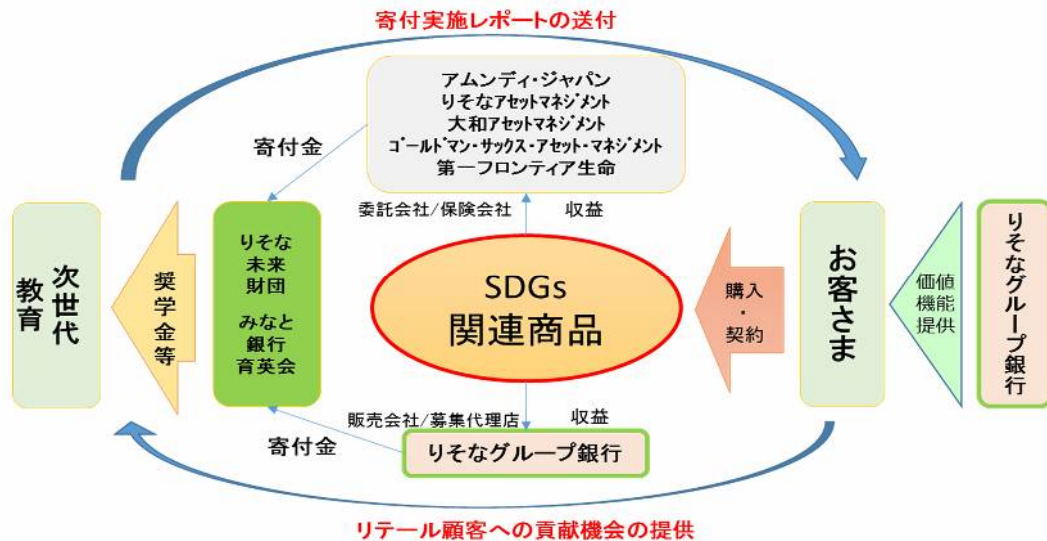
別紙

【「みらいE-usプロジェクト」とは】

2019年10月よりスタート。りそなグループの販売会社/募集代理店、委託会社、保険会社がSDGs関連商品の取扱いで得る収益の一部を共同で公益財団法人りそな未来財団と公益財団法人みなと銀行育英会に寄付し、奨学金として高校生ならびに大学生に寄付を行います。

学ぶ意欲がありながらも経済的に課題を抱えている学生を、資産形成を通じてサポートします。

【プロジェクト全体像】



【プロジェクトの実施概要】

名称	『みらいE-usプロジェクト』（未来の為に今日から明日から） 「E」… Ecology/ Education /Environment/Everybody 「us」… お客さま、各ステークホルダー、りそなグループ各社と一緒に良い明日を創る
寄付先	公益財団法人りそな未来財団 (https://www.resona-mirai.or.jp/) 公益財団法人みなと銀行育英会 (https://www.minatobk.co.jp/minatosf/)
スキーム概要	SDGsに関連する投資信託6商品、生命保険1商品の取扱いで得る収益の一部を、りそなグループの販売会社/募集代理店、委託会社、保険会社が共同で寄付を実施します。
対象商品	①「みらいエデュケーション」（アムンディ・ジャパン） ②「みらいメディカル」（アムンディ・ジャパン） ③「ニホンノミライ」（りそなアセットマネジメント） ④「みらいEarth」（大和アセットマネジメント） ⑤「みらい定期便」（アムンディ・ジャパン） ⑥「ecoWIN」（ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント）NEW ⑦「安心道しるべ」（第一フロンティア生命）NEW なお、取扱商品、取扱時期はグループ銀行によって異なります。（詳しくは各社ホームページをご参照ください）。 現在「みらい定期便」は、りそな銀行・埼玉りそな銀行・みなと銀行、「みらいEarth」「ecoWIN」「安心道しるべ」は、りそな銀行・埼玉りそな銀行でのお取り扱いとなります。
寄付金使途	2つの公益財団は受入れる寄付金を原資として、従来の寄付金事業に上乗せして高校生ならびに大学生を主な対象として奨学金等の給付を行います。
対象期間	2019年10月1日～2022年12月30日 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは、当該ファンドの取扱開始日の2021年8月26日～2022年12月30日を対象とします。 第一フロンティア生命は、当該生命保険の取扱開始日の2021年9月1日～2022年12月30日を対象とします。
次回寄付	2022年4月（予定）
寄付者	取扱銀行/募集代理店（りそな銀行、埼玉りそな銀行、関西みらい銀行、みなと銀行） 委託会社（アムンディ・ジャパン、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント、大和アセットマネジメント、りそなアセットマネジメント） 保険会社（第一フロンティア生命） なお、寄付金控除対象等には該当しません

【寄付対象投資信託の概要】

商品名（愛称）	取扱銀行	関連する SDGs	商品概要
みらい エデュケーション	りそな銀行 埼玉りそな銀行 関西みらい銀行 みなと銀行		<ul style="list-style-type: none"> 主に世界の教育関連事業を行う企業の株式へ投資します。教育エコシステムの発展で成長が期待される3つの投資テーマ（教育プロバイダー、教育ツール、教育サービス）に関連する企業群から、ESGに関するアムンディおよび外部評価機関による評価が低い企業を除外したものを投資対象とします。
みらいメディカル	りそな銀行 埼玉りそな銀行 関西みらい銀行 みなと銀行		<ul style="list-style-type: none"> テクノロジーの進化をもとに発展する今後の医療革新に注目し、主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資します。 投資対象企業には、医療機器・診療器具・医療サービス等を含みます。
ニホンノミライ	りそな銀行 埼玉りそな銀行 関西みらい銀行 みなと銀行	 	<ul style="list-style-type: none"> 国内の中小型株に投資します。 社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決にビジネスの観点から取り込み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄に投資します。
みらい Earth	りそな銀行 埼玉りそな銀行		<ul style="list-style-type: none"> 世界のクリーンテック関連企業^{*1}の株式(約50%)およびグリーンボンド^{*2}(約50%)に投資します。 *1 地球温暖化対策、環境汚染防止等、環境分野で優れた技術を有する企業を指します。 *2 グリーンプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債です。
みらい定期便	りそな銀行 埼玉りそな銀行 みなと銀行		<ul style="list-style-type: none"> 世界の株式、債券、その他様々な資産へ投資します。 分配金は、原則、配当・利息等から支払うため、資産の目減りを回避し、資産寿命を延ばすことでゆとりある老後生活の貢献が期待できます。
ecoWIN NEW	りそな銀行 埼玉りそな銀行	  	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題のソリューション・プロバイダー^{*3}へ投資します。 環境問題を解決するにあたって重要な投資テーマ^{*4}を特定して運用を実施します。 投資テーマは今後変更する可能性があります。 *3 環境問題の解決に貢献する製品やサービスを提供する企業を指します。 *4 脱炭素社会・持続可能な消費と生産・循環経済を指します。

【寄付対象生命保険の概要】

商品名（愛称）	募集代理店	関連する SDGs	商品概要
安心道しるべ NEW	りそな銀行 埼玉りそな銀行	 	<ul style="list-style-type: none"> 指数連動型の一時払年金保険です。 幅広い受取プランの中から、お客さまがライフプランに合わせた受取方法を選択できるなど「人生100年時代」における資産形成・資産承継をかなえます。 カーボン・オフセットを利用し、商品パンフレット作成におけるCO2排出実質ゼロに取り組んでいる商品です。